

事務所：全渡島教職員組合内 函館市昭和町34-23 電話0138-42-7422 庶務局：〒040-0075 函館市万代町1-1中居喜代晴 方 電話0138-43-2784

## 第53回道南南母親大会 安齋育郎さんの講演から

### 「放射能をどこが知りたい」〜これからどうなる食卓・環境・原発政策〜

会員の多くの皆さんも参加されたことと思いますが、7月7日(日)道南南母親大会が開催されました。今年の大会は分科会なしの全体会(記念講演)。講師が同志社大学名誉教授(色々な肩書きをお持ちのようですが)の安齋育郎氏。長年、国の原子力・核政策を激しく批判してきた、放射線防護学の第一人者でもあります。紙面の都合もあり、講演の一部の報告となりませんがご勘弁ください。なお、当日の講演内容を録音したものがありません。興味のある方は柴田まで(31-5769)連絡ください。CD・Rコピーしたものを提供します。また大会の様子は、共産党函館地区委員会の「道南新報」上で会員の多田真理子さんが報告していますので、こちらも読んでいただければと思います。

テンポがよく、聴衆の笑いを誘う話しぶりで一時間半ほどの話を進めていきました。

日本にまだ原発のない学生時代(原子力工学科)に放射能の厄介さを知り、それを人間が安全に管理できるのかの判断をするために防護学に研究を移したことを話されました。その後も一貫して原発の運動を進めてきており、岩内町で講演をされたこともあったようです。

40年ほど前、日本が原発政策を推し進めようとした時期から原発の立場で活動を進めてきましたので、当然のことながら数々の妨害や懐疑があったようです。福島原発に反対し続けてきたのですが、おとしの破局的な事故。それ以降も毎月福島へ通っているそうです。

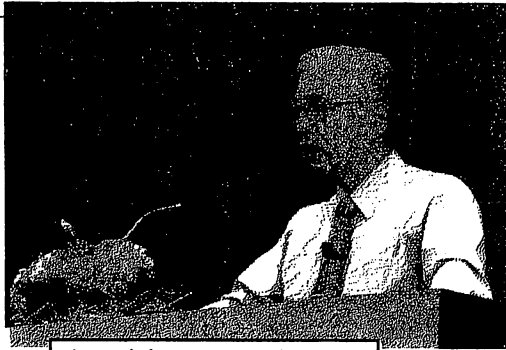
福島県の汚染状況は計り知れないもので、県民は数十年から百年単位で放射線と向き合った生活を余儀なくされているということも強調されました。しかし、福島をサポートするというなら、まちがった判断をしないでほしいと話されます。住民の外部被曝は函館市民より少し多い程度。農産物も安全なものを出荷。「産地を恐れず、実態を恐れる」ことを強調しました。もちろん、事故当初に内部被曝された人たちは今後も定期的に検査を受けなければならぬという深刻さも実態としてあるとのこと。

手品を披露しながら話したのは「手品でなければできない役割がある。人間はいかにだまされやすいかを、否応なしに見せつけたいと考えている。政治的にだますことで戦争が起きる。原発事故も起きる。また、「一部を見て全体を想像させる。これは原発事故そのもので、安全であるところだけを見せて原発は安全であると錯覚させる。安全神話にのせられた日本そのものように聞こえます。」

400回ほどの講演をしてきた中で危うさを感じていることを話されました。聴衆の多くが興味を持つのが「放射能の影響について。しかし、放射能について勉強しても原発はなくならないわけです。ここで昨年の衆院選挙にふれ、原発問題を争点と考える人の少なさと、54基の原発を作ってきた政党に政権を戻してしまっただけを指摘しました。参院選挙での選挙を間違えないでほしいとの訴えもありました。(すでに結果も出ましたが、期待できる勢力の躍進がありました)。

「広島・長崎・ビキニの災害を体験したこの国が、なぜ54基の原発を持つようになったのか」9つの理由を述べました。①アメリカの対日エネルギー戦略 ②受け入れた日本政府 ③タッグを組む電力資本 ④それを支えた原子力安全委員会などの官僚機構 ⑤御用学者 ⑥学者が書いた安全神話を垂れ流しにしたマスコミ ⑦原発へと傾いていった地方自治体(交付金) ⑧原発推進派に仕立て上げられていった一部住民 ⑨歯止めを利かすことのできなかった裁判所

これらが原子力ムラを作っていく原因となった。など、これ以外の話題も豊富な知識と経験に基づいたもので大変学習させられる講演でした。



当日の安齋氏とは別の画像です。

## サークルの活動を紹介します

# パソコン同好会

七月八日(第2月曜日)、今年度第四回目のPC同好会があった。今回は小笠原康夫さんをお願いして「フォトムービー」の紹介と作り方について解説していただいた。

使用したソフトはマイクロソフトが無料で提供しているWindows Liveムービーメーカーです。皆さんはそれぞれのパソコンにダウンロードして使った。環境の違うパソコンで苦労しながらも熱心に挑戦！スライドムービーが動き出し、音楽の流れた時には「おっ・・・できた！」と喜びの声が上がった。

### 「フォトムービー」に挑戦！

「ムービーメーカー」を起動し、写真を必要数読み込む。次に「タイトル」ボタンを押してタイトル入力する、画像にコメントするには「キャプション」ボタンを押してコメントを入力し、ムービーの最後には「クレジット」ボタンを押して「おわり」と入力する。BGMを流したいのなら「サウンドの追加」ボタンを押して曲を指定する。画像の順番を変えるにはマウスでその場所へドラックすればよい。終わったら「保存」ボタンを押して、「DVDの書き込み」ボタンを選択し、指示通りにクリックするとDVDが完成する。

(平沼さんの「PCあれこれ新聞」より)



パソコン同好会は、毎月第二月曜日の午後一時から組合事務所前例会を開いています。関心のある方は気軽に参加してください。事前申し込みは必要ありません

# 三(山)の会

「たまに函館山にでも登って、植物観察でもしようか」と植物好きの連中の話がまとまり、「じゃあ、山はサンだから三の日に登ろう」ということで、一九九六年の六月三日に参加者五名で第一回が行われたと記録に残っています。

会則は全く自由奔放で登りたい人たちが三々五々集まって登ります。登る目的も、植物を楽しむ、小鳥の観察、足腰を鍛える、森林浴を楽しむなど自由。限界を感じてリタイヤしたい人は途中で引き返すことも、雨が降りそうな時は、いさぎよく途中から引き返すことも、決して無理はしません。

三(山)の会はそんな会であることを共通の理解に、みんなが楽しんで登りました。

発足当時は、足腰を鍛えるというよりは、植物観察を楽しみながら登っていたようですが、いつとはなしに足腰を鍛えるという要素も加わり、植物との出会いを楽しみながら、山頂到達への達成感が楽しくなってきました。

花に魅せられ、山頂よりの眺望に感動を覚えたなら、函館山以外の山にも登りたいということになり、横津岳、駒ヶ岳をはじめ道南の山。遠くは羊蹄山、オロフレ山、ニセコ連邦の山々。八甲田山などの山にも挑戦し山登りの醍醐味を満喫しました。山は、四季おりおり表情を変えます。

「春は新芽と開花、夏は新緑と強い日差しとセミの声、秋、紅葉と落葉、冬、純白の雪、静寂と厳寒」と変化し楽しんでくれます。

有酸素運動として山登りは、健康に大変よい運動だと奨励されていますが、我が「三(山)の会」は「寄る年波には勝てぬ」の如く、年々参加者が少なくなり、風前のともしびに近い状態ですが、これからも七、八百回を目指し登り続けたいと思います。現在六百二十回。

春の山の様子的一端です

四月十三日(二百七十八回目)函館山です

小春日和、雲ひとつなく快晴。桜前線も上陸間近とニュースがあり、草の芽に息吹を感じる。駐車場のカタクリの花が咲き始める。可憐な花に心が和む。山の花も一気に咲き出した。薬師コースのフクジュソウの群落、花も満開で見ごろ、思わず声



が出る、「きれいだね」  
エゾタテコスのエンレイソウ、色鮮やかなコジマエンレイソウも咲き出した。宮の森コースでは「キクザキイチゲ、キバナノアマナ。観察小屋付近のエゾエンゴサク、特に白い花のエングサク」輪に感動する。山は春爛漫だ。

(山誌より抜粋)



花に関心のある方、美しい眺望を楽しみたい方、ぜひ参加してください。待っています。

## ゆきとどいた教育署名

七月二十八日スタート集会

「教育費無償化」と「ゆきとどいた教育」をすすめてよう!

日本の将来を担う子どもたちの教育費に国が支出する割合は、先進諸国の中でも最低水準にあることが新聞紙上に載っていました。まさに教育後進国といえるでしょう。教育格差も広がるばかりであり、国の責任をそっちのけにし、口を開けば「学力、学力」と騒ぎ立てる為政者たちに腹立たしい思いである。「教育費無償化」と「ゆきとどいた教育」をすすめるため、今年度も教育署名に取り組みしましょう。



◎一次集約 九月末日 ◎二次集約 十一月末日です。

署名用紙が届き次第、お届けします

## 福祉委員会便り

去る六月十日、第一回委員会を開催し今年度の活動計画について話し合いましたので、お知らせします。

◆ブロック担当者会議

日時 八月十九日(月) 午前十時より

場所 全教渡島事務所

◆第一回「集い」の開催

先に実施したアンケートに基づいて一回目の集いは「学習会の集い」としました。案内パンフを同封しましたので、ご覧の上「参加ください」。

期日 八月二十九日(木) 午後一時三十分より

場所 全教渡島事務所

※便乗希望の方は、事務局までお知らせください

## 第十六回青葉展のお知らせ

会員・家族作品展として開催し、今年度で十六回目を迎えます。

九月開催を希望していましたが、会場の都合で左記の日程となりました。取り組み時間に余裕がありますので、多数の作品応募を待っています。

※詳しくは、案内要項を同封しましたので「ご覧ください」

搬入期日 十月十六日 九時  
会場 ネットトヨタ美原店 一階  
会期 十月十六日～二十日

## 2013原水禁世界大会・長崎

### 代表派遣カンパに協力を

原水爆禁止世界大会が今年も広島市・長崎市で開催されます。毎年各組織・団体からの参加者で代表団を結成し参加しています。今年は8月7日～9日に開催される世界大会長崎への派遣となります。一人当たりの経費は20万円ほど。多くの団体で募金活動を進めておりますので、私たちも協力しましょう。



## 訃報

会員 湯浅 豊彦氏

入院加療中の処 六月四日 七十九歳をもってご逝去されました。

ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

参議院選挙が終わり、にこやかにしています。何年ぶりにこんな気持ちになったのは忘れてしまいました。私は「選挙公報」なるものを保管してしまいました。間違いない議員がいることは確かなのですが、誰がそとどの政党がウソをつき、ごまかしをするのかを見極めるためにも……  
柴田の独り言

事務局から 「支部便り」の編集が5月の96号から、次長の柴田に代わりました。ご意見等がありましたら31-5769までバシバシと指摘を。自由なご寄稿を待っています。原稿依頼もしますのでよろしく!!